

# 大会宣言(案)

私たちは本日、愛労連第56回定期大会を開催し、むこう1年間の活動方針を確立しました。大会では、賃金・労働条件の改善に向けて、職場・地域から運動の成果を共有し、豊かな経費と教訓、暴走する安倍政権に反撃する決意が語られました。

## 組合員のみなさん

安倍政権は、国政のあらゆる面で横暴を繰り返しています。「戦争する国づくり」に向け、国民の内心を処罰する「共謀罪」法を強引に今月11日に施行しました。年金、医療・介護、保育、教育の改悪をはじめ、沖縄での米軍新基地建設、原発再稼働、TPPによる農業破壊を強制的にすすめています。安倍首相は、秋の臨時国会に「憲法9条に自衛隊を明記」する改憲案を国会に提出するとしており、これを許さないたたかいは正念場を迎えます。しかし、森友学園・加計学園等の行政私物化に、国民の怒りが広がり、東京都議選で自民党は歴史的大敗を喫しました。国民的共闘を前にすすめ、安倍政権に退陣を迫り、市民と野党の共闘で、早期に解散・総選挙で政治を変えましょう。

## 組合員のみなさん

「世界で一番企業が活躍しやすい国」と言って、内部留保を積み増す大企業ばかりを優遇する安倍政権と労働者・国民との矛盾が激化しています。非正規労働者が4害を超え、職場では長時間・過密労働がまんえんしています。「ブラック企業」による過酷な労働実態、いじめ・パワハラが増大し、多くの青年が多額の奨学金の返済に苦しんでいます。実質賃金は5年連続マイナス、中小企業も単価の切り下げで地域経済が疲弊し、格差と貧困が広がっています。まやかしの「働き方改革」で、過労死認定ラインを容認する月100時間の残業を合法化し、残業代ゼロ法と裁量労働制拡大を狙っています。私たちは、労働時間法制の改悪を断じて認めるわけにはいきません。1日8時間労働の原則に立ち返るよう強く求めるものです。

愛労連は、大幅賃上げ実現、最低賃金引き上げ、働くルールの確立、社会保障の拡充、沖縄新基地建設反対、核兵器廃絶、脱原発など、つねに働く者のいのちとくらしを守る運動の先頭をたってきました。財界大企業の横暴を許さず、各単産・地域労連の総力をあげて、多くの労働者・国民を結集しましょう。

## 組合員のみなさん

いま、歴史的転換点にたっています。人類史上初の核兵器禁止条約が国連で採択されました。愛労連運動の歴史と伝統を受け継ぎ、期待に応える目標と課題を確実にこぎすすげるために、職場・地域を基盤に、すべての組織が純増となる計画を立て、早期に「7万愛労連」を構築しましょう。本日の大会で確立した方針を実践し、労働者・国民のくらしと平和、憲法が活きる職場・地域・社会をめざして、おおいに奮闘しようではありませんか。

以上決議します。

2017年7月23日

愛知県労働組合総連合 第56回定期大会